



アークス通信 vol.62

メルマガ読者の皆様、いつも温かいご支援をありがとうございます。

今月も、一人ひとりの尊厳が守られる社会を目指して言葉をお届けします。

この夏も各地で厳しい気候や災害が続いております。

熊本大地震、そして千葉の豪雨災害により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

また、8月は広島・長崎の原爆忌を迎え、多くの戦争犠牲者へ追悼の祈りを捧げる季節でもありました。

過去の痛みを忘れることなく、命と人権が最優先される平和な未来を築いていかねばなりません。

不安な日々を過ごす方々に寄り添い、私たちはこれからも活動을続けてまいります。

皆様の安全と健康を、スタッフ一同、心よりお祈り申し上げます。

Topics

- 【1】日本にボランティアは根付いているのか
- 【2】参加者募集中！10/10 御巣鷹の尾根・慰霊登山
- 【3】販売中の書籍紹介コーナー！

【1】「日本にボランティアは根付いているのか」

1995年の阪神・淡路大震災、そして15年前の東日本大震災。日本では大きな災害をきっかけにボランティアの輪が広がってきました。しかし、災害時以外の「日常的な支援」—生活困窮者やマイノリティへの活動は、欧米に比べるとまだ根付いていないのが現状です。

欧米では、老若男女が日常的に、かつ主体的に様々なボランティアを楽しんでいます。一方、なぜ日本では「義務」や「証明書のため」になりがちで、日常の文化にならないのでしょうか。

その背景には、私たちの「ゆとりのなさ」があるのかもしれません。

子どもたちは、長期休みも宿題に追われ、放課後は塾や部活で多忙

大人たちは、長時間の残業、短い夏季休暇、親子で夕食を囲む時間の不足

日々の生活で精一杯になり、他者へ思いを寄せる「物理的・精神的なゆとり」を奪われているのが、いまの日本の生活実態ではないでしょうか。

ボランティアは単なる「奉仕」ではなく、社会を支え、自らも学ぶ大切な営みです。私たちを縛るこの社会構造について、政府はどう変えようとしているのか。そして私たちは、どうすれば一步を踏み出せるのか。

今月は、日本のボランティアのあり方と、私たちの暮らしのゆとりについて、皆様と一緒に考えていきたいと思います。是非ご意見をお寄せください。

【2】参加者募集中！10月10日（土）

御巢鷹の尾根・慰霊登山～命の尊さを心に刻み、未来の安全と人権を考える～

1985年8月12日、520名の尊い命が失われたJAL123便の墜落事故。

あの悲劇から歳月が流れた今も、犠牲になられた方々の無念さ、そしてご遺族の深い悲しみが消えることはありません。

当人権団体では、事故の記憶を風化させず、命の尊さと安全への誓いを新たにするため、10月10日に群馬県上野村の「御巢鷹の尾根」への慰霊登山を実施いたします。

ただ追悼するだけでなく、一人ひとりの「生きる権利」や「安全に暮らす権利」について、日常を離れた静かな山の中で、また往復4時間の車中で、共に考え、語り合う貴重な機会にしたいと考えています。

「一度は訪れて手を合わせたい」と思っていた方、当団体の活動に共感してくださる方、どなたでも歓迎いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催概要

- ・ 日時：2026年10月10日（土）[日帰り]
- ・ 場所：群馬県多野郡上野村「御巢鷹の尾根」
- ・ 出発：9時 高崎駅集合 8時50分
- ・ 参加費：1万円（お弁当持参の方は、8,500円。お弁当代、10人乗りワゴン車・ジャンボタクシー代・高速代・保険代・日帰り温泉入浴料など含む。）
- ・ 定員：9名（先着順・要事前予約）

 初めての方も安心してご参加ください。山道を熟知したプロが運転で安心です。

- ・ 歩きやすい登山道：現在は整備が進み、ふもとから昇魂之碑までは片道約30～40分ほどで登ることができます。
- ・ サポート体制：当日の体調に合わせ、スタッフが無理のないペースでゆっくりと先導いたします。
- ・ 持ち物：動きやすい服装、歩き慣れた靴（スニーカー等）、雨具、飲み物持参などでお気軽にご参加いただけます。

<行程>

09:00：高崎駅を出発

11:00：御巢鷹の尾根 登山口駐車場に到着

登山口駐車場車内で昼食を予定しますのでお弁当と飲み物持参することをおすすめします。

11:30～12:30：慰霊登山（昇魂之碑への参拝）

中高年の方でもゆっくり、休憩を挟みながら墓標／スゲノ沢をお参りしながら登ります。

13:00～13:40：麓の「慰霊の園」を訪問。展示館で遺品や記録の動画を観て、命の大切さを深く学びます。

14:00～15:00：帰りに日帰り温泉「浜平温泉しおじの湯」に立ち寄ります。

15:00 上野村を出発

17:00 前後：高崎駅に到着・解散

・アクセスの良さ：東京から来られる方も高崎までは新幹線（約 50 分）や在来線（新宿湘南ラインや上野東京ライン）でスムーズに集まります。

<申込先> info@humanrights-ra.com 人権問題研究協議会事務局へ

氏名、住所、年齢、連絡のつくメールアドレス、電話番号、参加の動機を簡単に明記してください。追って詳細をお送りします。

※10 月は秋の行楽シーズン（紅葉など）と重なるため、定員に達し次第締め切ります。

【3】販売中の書籍紹介コーナー！

エッセイコンテスト受賞作品『人権問題エッセイコンテスト受賞作品集』、『心をつなぐエッセイ集』が絶賛発売中！進級、進学、入学祝などにも是非ご購入ください。アマゾンなどでの評価も宜しくお願い致します。

① 『人権問題エッセイコンテスト受賞作品集』 2024 年 11 月発行



<https://human-r.net/l/m/6gC58ZSKMasIdf>

② 『心をつなぐエッセイ集』 2021 年 10 月発行



<https://www.amazon.co.jp/dp/4434298046?tag=hanmotocom>

いずれも全国の書店、ネットショップ、アマゾンなどで絶賛発売中！

発行所：牧歌舎 発売元：星雲社 定価 1,100 円（税込み）

Kindle 版（電子書籍）500 円（Kindle Unlimited 会員 0 円で読み放題）

※刑法改正に伴い「性暴力対策ガイドブック改訂版」を 10 月下旬～11 月に出版予定。

☆「アークス通信（人権問題研究協議会メルマガ）」は、当協会の会員やご寄付をいただいた方、イベントにご参加申込みいただいた方、公的機関の方、名刺交換をされた関係者の方々にお送りしています。

☆メルマガ以外のお問い合わせ等お急ぎの場合は、ホームページより事務局へ直接ご連絡ください。

☆ご寄付のお願い

現在、当団体では東京都足立区と群馬県前橋市で生活に困窮している高齢単身者の為の「入居時保証人」と被虐待母子のための「シェルター」事業及び「性暴力被害相談」を無料でおこなっています。つきましては皆さまには物価高の折大変恐縮ですが、下記よりわずかでもご寄付をお願いできれば幸いです。

ご寄付のお申込みは下記ホームページの「入会案内&寄付」よりお願い致します。会員も同時募集中です。

<https://www.humanrights-ra.com/join>

一般社団法人人権問題研究協議会（HRRA）